



## ご案内

Samba はWindows 用ファイルサーバーを実現するオープンソースソフトウェアです。各種UNIX/Linuxシステムをサポートし、国内でも1000台規模の、海外では数万台規模のクライアントをサポートするドメインコントローラとして活躍しています。日本Samba ユーザ会では、Windowsサーバー日本語版との互換性を強く意識した国際化対応のja版(日本語版)の配布や、日本語での情報交換/情報提供のために各種メーリングリストの運営、Webページの提供、翻訳ドキュメントの配布、導入事例の収集とご紹介等を行っています。

## 目的

- Samba の国際化および普及促進を図ります
- Samba に関する情報の収集と公開、技術の移転の促進を行ないます
- 会員相互および外部との技術的・人間的交流を図ります

## 活動内容

- Samba 関連技術に関する調査研究、情報収集、配布
- インターネットを利用した情報発信
- Samba ユーザ会ホームページの運営
- メーリングリストの運営
- その他本会の目的を達成するために必要な事業

## Sambaとは？

Samba (「サンバ」と呼びます)は、UNIX およびUNIX 互換マシンをWindows NT 互換のファイルサーバ/プリントサーバにするオープン・ソース・ソフトウェアです。GPL (GNU General Public License)の 元は無償で利用することができます。Samba はオーストラリアのAndrew Tridgell 氏らによって1992 年に開発されました。現在Linux のブームによりLinux で利用するユーザが急増していますが、SUNやHPのUNIX マシンをベースとした数千以上のユーザをサポートするSamba サーバも企業のインフラとして活躍しています。現在世界中で推定1000万台以上のUNIXマシンでSamba が稼働しており、Linux の普及に伴いファイルサーバとしての利用数が急増しています。また、Linuxを利用したNAS(Network Attached Server)での採用事例も多数見かけます。

現在Sambaは、Andrew Tridgell 氏やJeremy Allison 氏らの SambaTEAM が中心になり開発が行われていますが、オープン・ソース・ソフトウェアとしてインターネットを通じて世界中の多くの人達が開発に参加しています。そして私達日本Sambaユーザ会でもSambaの国際化対応が実現されるよう活動しています。

### Samba が操作するプラットフォーム

Linux,FreeBSD,NetBSD ,Sun Solaris,HP- UX,IBM AIX,IBM MVS,SGI IRIX,NEC UX/4800,  
SCO UnixWare,Compaq Alpha,MachTen,MAC OS X など他多数

## 開発成果

1999年  
12月 Samba-2.0.5a-JP2 リリース  
2000年  
7月 Samba 2.0.7 日本語版 正式リリース  
9月 Samba 2.0.7-ja-2.0 リリース  
2001年  
3月 Samba 2.0.7-ja-2.2 リリース  
5月 Samba 2.0.9-ja-1.0 リリース  
8月 Samba 2.0.10-ja-1.1 リリース  
2002年  
1月 Samba 2.2.2-ja-1.0 リリース  
7月 Samba 2.2.4-ja-1.0 リリース

## これまでの活動

1999年  
11月 日本Sambaユーザ会設立  
12月 SambaTEAM Jeremy Allison 氏との会合  
2000年  
4月 Linux Conference 2000 Spring 出展  
5月 Linux World Expo/Tokyo 出展  
2001年  
5月 Linux World Expo/Tokyo 2001 出展  
7月 SambaTEAM Andrew Tridgell 氏と会合  
7月 たかはしもとのぶ 氏 SambaTEAMメンバーへ  
2002年  
5月 Linux World Expo/Tokyo 2002 出展  
7月 NETWORKORLD+INTEROP2002 TOKYO Samba BOF

## お問合せ

日本Samba ユーザ会の活動は、ホームページ <http://www.samba.gr.jp/> でご案内しています。  
電子メールによるお問い合わせは、[staff@samba.gr.jp](mailto:staff@samba.gr.jp) までお願いします。